



校訓

「夢を持って歩み続ける」

陽光(さん)

令和7年7月14日 第7号 文責 梶原 圭一



前期前半の人権月間を終えて



【講師を招いて行った人権講話】



【人権ポスターの取組】



熊本県人権教育・啓発基本計画【第5次改定 概要版】

6月を前期前半の校内人権月間と位置づけ、すべての学年で人権学習をはじめ、教育活動全体を通じた日常での取組を進めてきました。特に人権学習では、それぞれの学年の発達段階に応じて、なかまづくりとともに、「相手の思いを分かろうとする想像力を育てる」ことを中心に学習に取り組んできました。「相手の思いを分かろうとする想像力を育てる」とは、身の回りの友だちの表情や言動に気を配りながら、「どうしたの」「何かあったの」と声をかけたり、こんなことをしたら相手が嫌な思いをするから止めようと思ったりできる実践力だと考えます。教材等で描かれている出来事と自分自身の見方や考え方と重ねながら、自分の思いを綴り、語る実践を大切に進めてきましたし、今後もこのような学習を積み上げていきたいと思います。

日常的な取組としては、朝の会や帰りの会など、共感的人間関係を育てる取組も行っています。自分を大切にするように、友だちや学校を大切にすることが見られた子を学級内で紹介したり、学級の宝として集めたりする取組などが行われています。このような取組を通して、多様な見方や考え方を育てていってほしいと願っています。さらに、学んで感じたことを紹介するために、人権ポスターづくりに挑戦している学年もあります。先生たちと一緒に、どのようなデザインにするか考え、一人ひとりが一生懸命取り組む姿が見られました。

今もなお、様々な人権問題が発生しており、部落差別（同和問題）をはじめとして、インターネット・SNSでの誹謗中傷やハラスメント、性的指向・性自認に関する偏見等も全国的な社会問題となっています。このような差別や偏見をなくし、それぞれの違いを認め合い、互いの思いに寄り添う社会を実現させていくためにも、子どもたちとともに、私たち大人も共に学んでいかなければならないと感じています。本校では、これからも人権教育を根底に据えた教育活動を進めていくために、職員も校内外の研修等を通して、学び合っていきたいと思います。

明るく住みよい社会を目指す～青少年のつどい～

7月5日(土)に町の図書館ホールで「明るく住みよい社会を目指す～青少年のつどい～」が行われました。この大会の目的の一つに、子どもたちの発表などを通して、青少年の健全育成の活動を町民に広げるとあります。毎年、菊陽町の小中学校の代表が作文発表を行っていますが、本年度も『私の夢と地域との関わり』というテーマで発表が行われました。どの子の発表もすばらしく、心打たれるものがありました。本校の代表として発表した5年生の児童は、祖父の免許返納の出来事から町を巡回している「キャロッピー号」の重要性に目を向け、子どもから高齢者まで、誰に対しても優しいまちづくりに携わっていきたいという自分の夢を堂々と紹介してくれました。この発表を聞いた町長も、大会終了後に「町政に生かしていきたい」と話していただきました。また、自分の親が仕事に取り組む姿を見て、自分も同じ職業を目指したいと発表する子や、自分が興味をもって取り組んでいることを町の発展に生かしたいという子など、夢をもって生活することの大切さを子どもたちから改めて教えられました。子どもたち一人ひとりが自らの夢実現に向けて、粘り強く取り組む姿を心から応援していきたいと強く感じた大会でした。

<今後の主な予定>

8月23日(土) PTA 美化作業

8月27日(水) 前期後半開始日

9月19日(金) オープンスクール

10月10日(金) 前期終業式